

令和2年度 日南市立大堂津小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン

- 児童の健康・安全を第一とし、全職員が本校の教育目標を理解し、英知と創意工夫によってその具現化を図る。
- 学校力向上のために、全教職員がコミュニケーション（報告・連絡・相談）を円滑にし、協働の意識と意欲をもち、「チーム学校」として、組織的に教育活動に取り組む。
- 児童や家庭・地域の実態に即し、保護者や地域の期待に応える教育の推進に努める。
- 今後の教育の動向を見据え、組織力を発揮して児童に生きる力を育むとともに、全職員相互の資質向上に努める。

【評価】4（よい） 3（だいたい） 2（もう少し） 1（よくない）

評価項目	主な達成手段	判断基準	対象	評価R2年度	評価R元年度	評価30年度	増減	総合評価※(昨年度)	考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見						
確かな学力の定着と向上	①基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用を図った授業の推進	単元テストの正答率	学校	3.1	2.4	3.0	0.7	37.8	・Web学習単元評価問題については、新しい学習指導要領の評価に対応した問題が作成されておらず、取り組むことができなかった。単元テストの正答率は、国語平均88点、算数平均83点(昨年度国語87点、算数83点)で、昨年度とほとんど差異がない。また、今年度は4月に予定されていた全国学力・学習状況調査(6年)やみやざき学習状況調査(4・5年)が中止となり、12月にみやざき学習状況調査(5年)のみ実施した。この結果を分析し、十分に活用しながら学力向上に向けた取組を行いたい。	・タブレットが導入されていく中で大変だと思いますが、先生方にはスキルアップをしていただきながらITを活用して、学習の定着や向上に繋げていただきたい。						
		学習習慣の定着	学校	2.6	2.8	2.8	-0.2									
		授業が分かりやすいと思う児童の認識	児童	3.5	3.3	3.7	0.2									
		授業が分かりやすいと思う保護者の認識	保護者	3.4	3.3	3.4	0.1									
	②個別指導を生かした一人一人の学力向上	個別指導の実施状況	学校	2.9	2.8	2.9	0.1	3.2			・学校では、「授業改善の4+4のチェックポイント」を活用した相互参観授業を行い、指導方法の工夫改善に向けて協議し、授業改善に取り組んできた。今後も授業改善に向けた、「学びの見届け」や「学びの確認」の取組を行い、定着や習熟を図りながら、分かりやすい授業が展開できるようにしたい。学習習慣の定着では、昨年度よりマイナスになっているので、各学期初めに設定してある学習指導週間を有効に活用し、反省を生かしながら、家庭とも連携を深め、確実な定着を図っていききたい。	・また、身の回りでIT化が進み便利になっていく反面、デメリットも多くあることについて、併せて指導をお願いしたい。				
		分かるまで学習をしているという認識	児童	3.3	3.2	3.3	0.1									
		分かるまで家庭で学習をしているという認識	保護者	3.0	2.8	2.7	0.2									
	③教育課程の実施	教育課程を工夫し、授業時数を確保しているという教師の認識	学校	3.2	2.8	3.2	0.4	増減 +0.2					・学校では、「授業改善の4+4のチェックポイント」を活用した相互参観授業を行い、指導方法の工夫改善に向けて協議し、授業改善に取り組んできた。今後も授業改善に向けた、「学びの見届け」や「学びの確認」の取組を行い、定着や習熟を図りながら、分かりやすい授業が展開できるようにしたい。学習習慣の定着では、昨年度よりマイナスになっているので、各学期初めに設定してある学習指導週間を有効に活用し、反省を生かしながら、家庭とも連携を深め、確実な定着を図っていききたい。	・ICTを活用しながら、人と調整し、話し合いながら生きていく、世の中をつくっていく子を育ててほしい。そして、使いこなすことが目的でなく、本質を見失うことのないように指導してほしい。		
		学習内容の完全実施に取り組んでいるという教師の認識	学校	3.2	2.7	3.0	0.5									
	④授業改善への取組「分かる！できる！」まで教えよう	チェックポイントを活用した授業改善に取り組んでいるという教師の認識	学校	3.1	3.0	2.8	0.1	増減 +0.2							・教育課程の実施に関しては、新型コロナウイルス感染症による年度当初の臨時休業により、授業時数の大幅な削減を余儀なくされたが、臨時休業明けの工夫した取組により、授業時数の確保や学習内容の完全実施は図られている。今後は児童一人一人の個に応じた指導の充実を図りながら、一人一人の学力を向上させ、満足度の向上に繋げていきたい。	・学校評価の学習習慣の定着が低い点について、定着向上への一つの案として各学年の発達段階に合った宿題の量や質を工夫していただき、学習習慣の定着につなげていただきたい。
学習内容を理解しているという認識		児童	3.2	3.1	3.4	0.1										
先生たちは、分かるまで指導しているという認識		保護者	3.3	3.3	3.4	0.0										
心の教育の充実	①生徒指導の機能を生かした学級経営の充実	一人一人を大切に学級経営の取組状況	学校	2.9	3.1	3.0	-0.2	35.1	・一人一人を大切に学級経営については、月1回の「浜っ子アンケート」「浜っ子会議」で児童の実態把握と情報の共有化を図り、より児童理解に努めるとともに、各学級担任の学級経営の技術の向上を図る必要がある。	・学年が上がるにつれてスマホ等の保持率が増加しており、SNS等のトラブルも増えてきている。そのような中で学校外の問題も学校で解決しなくてはならず大変だとは思いますが、トラブル処理していただき、内容をしっかりと保護者へフィードバックするようにお願いしたい。						
		楽しく充実した生活を送っているという児童の認識	児童	3.4	3.4	3.6	0.0									
		楽しく充実した生活を送っているという保護者の認識	保護者	3.2	3.2	3.3	0.0									
	②基本的な生活習慣・態度の育成	基本的な生活習慣が定着しているという認識	学校	2.7	3.0	2.8	-0.3	3.2			・基本的な生活習慣の定着については、学校の評価が低い結果となっている。特にSNS等の使用において課題が見られたことも要因の一つと思われる。SNS等の利用については、低学年のうちから使い方の指導を行うなど、望ましい利用の仕方について児童や家庭への啓発を図っていかないとよと考える。さらに児童に対して、基本的な生活習慣を整えることの大切さについて指導を継続していききたい。	・温かい人間関係を構築していくために、人と人との関係を命を大事にする教育を行っていただきたい。				
		浜っ子会議や教育相談が児童理解・指導に役立っている認識	学校	3.3	3.3	3.1	0.0									
		あいさつ、けじめ、えがおができてきているという児童の認識	児童	3.3	3.3	3.5	0.0									
	③温かい人間関係の構築	あいさつ、けじめ、えがおができてきているという保護者の認識	保護者	3.2	3.2	3.3	0.0	増減 ±0.0					・温かい人間関係を構築していくために、今後も、道徳科の授業を中心に思いやりや親切にする心等の道徳性を養っていき。また、いのちの教育においても、生命やいのちの尊さを実感させ、それらを大切に育む教育を充実させていく必要がある。	・温かい人間関係を構築していくために、今後、道徳科の授業を中心に思いやりや親切にする心等の道徳性を養っていき。また、いのちの教育においても、生命やいのちの尊さを実感させ、それらを大切に育む教育を充実させていく必要がある。		
		温かい人間関係の構築に関する取組状況	学校	3.1	3.1	3.1	0.0									
		朝のボランティア活動等へ積極的に参加している児童の認識	児童	3.4	3.3	3.3	0.1									
		友達と助け合い、思いやりのある行動をしているという児童の認識	児童	3.4	3.2	3.4	0.2									
体力向上及び健康・安全、食育の充実	①体力向上プランの推進	体力向上プランが機能しているという認識	学校	2.8	3.2	2.6	-0.4	46.4	・体力向上に関する取組(朝の会での活動)の周知が十分でなかったため、学級によって取組に多少差が生じてしまったようである。外遊びに個人差があるので、声かけをしていく。	・ノーメディアdayの考え方について、各児童での取り組み方に差がみられるので、取組への共通の理解や指導をお願いしたい。						
		児童が体力の向上に努めているという認識	児童	3.1	3.3	3.4	-0.2									
		学校が体力の向上に努めているという認識	保護者	3.4	3.5	3.6	-0.1									
	②安全指導の充実	安全指導の実施	学校	3.4	3.5	2.8	-0.1	3.3			・安全指導については、児童に自分の命を守るために考えて行動できる態度が育ってきており、保護者もそれを実感している。ただし、繰り返し指導する必要がある。	・健康教育としての日南市いのちの教育(レインボープラン)について知ることができた。これからの実施に期待したい。				
		行動の仕方が身に付いているという児童の認識	児童	3.7	3.6	3.8	0.1									
		行動の仕方が身に付いているという保護者の認識	保護者	3.5	3.4	3.4	0.1									
	③健康教育・食育の推進	健康教育・食育指導の実施状況	学校	2.9	2.9	3.1	0.0	増減 +0.1					・健康教育については、個別の保健指導が必要な児童も見受けられる。それに対応した策を検討する。来年度も更に命を大切にする教育を充実させていく。日南市いのちの教育(レインボープラン)を実施していく。歯の治療率は56%に上がってきている。	・歯の治療率向上については、今後も推進してほしい。		
		歯磨きに進んで取り組んでいるという認識	児童	3.5	3.5	3.6	0.0									
		児童が歯磨きに進んで取り組んでいるという保護者の認識	保護者	3.3	3.2		0.1									
		早寝早起き朝ごはんができてきているという保護者の認識	保護者	3.2	3.1	3.2	0.1									
ノーメディアdayの取組状況		保護者	2.9	2.5	2.7	0.4										
新型コロナウイルス感染症の予防の実施状況		学校	3.4			3.4										
新型コロナウイルス感染症の予防に取り組んでいるという児童の認識	児童	3.6			3.6											
(手洗い・マスク・体温測定)に取り組んでいるという保護者の認識	保護者	3.7			3.7											
家庭や地域に誇りを持ち、地域に貢献される学校	②学校からの情報発信と地域や保護者からの情報収集	学校だよりや学級だよりをとおして連携が取れているという認識	学校	3.3	3.3	2.8	0.0	3.3	・本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、細田地区4校が連携した集合学習や職員研修が実施できなかった。そのため、評価項目を省いている。	・見守り人材の発掘のために、細田地区社会福祉協会に相談し、協力してもらおうことも必要だと思う。						
		学校の様子を積極的に公表しているという保護者の認識	保護者	3.3	3.5	3.6	-0.2									
	③学校支援地域本部事業の推進及び地域の人材・素材の活用促進	地域の素材・人材の積極的な活用に努めているという認識	学校	3.1	3.3	3.2	-0.2	増減 ±0.0			・地域の人材・素材を活用した取組については、今後も、感染拡大防止対策をとりながら、できる限りの活動を行っていく。	・「学校だより」や「学級通信」、「ホームページ」等で、今後も、目的や成果をより分かりやすく情報発信していくことに努める。				
		地域の素材・人材の積極的な活用ができてきているという保護者の認識	保護者	3.5	3.6	3.7	-0.1									

「自ら考え 心豊かでたくましい 大堂津っ子の育成」 R3 ～心でつながる大堂津っ子～

- 基礎基本と学習習慣を定着させ、一人一人が学力の伸びを実感できる指導を推進するとともに、家庭との連携を図りながら、学習環境を整備し、主体的・対話的に学習する児童の育成に努め、自ら学ぶ力、他者から学ぶ力を育成する。
- 心の教育の充実について、素直さを大事に、温かい人間関係を醸成し、心豊かで優しい児童の育成に努めるとともに、いじめの早期発見・対応及び教育相談を充実させ、他者から学ぶ力、社会から学ぶ力を育成する。
- 新しい生活様式を含めた基本的な生活習慣を図り、体力向上及び健康・安全、食育の充実について、保護者や地域との連携を図りながら継続的な指導に努め、自ら学ぶ力、自然から学ぶ力を育成する。
- 家庭や地域との協力体制を強め、開かれた学校、信頼される学校づくりに努めるとともに、学校運営協議会制度(コミュニティスクール)実施の推進を図り、社会から学ぶ力、自然から学ぶ力を育成する。